



現在だけでなく、未来を考えた配管の開発と供給を通し
信頼あるライフラインの構築を提案します

株式会社ベンカン

太田市

代表者：我妻武彦
設立年月日：2008年6月1日
資本金：1億円
従業員数：121人

住所：太田市六千石町5-1
TEL：0277-78-4119
Mail：marketing@benkan.co.jp
URL：https://www.benkan.co.jp



WEB サイト

● 事業者紹介

1947年、産業用配管機材メーカーとして、前身である日本弁管工業(株)を創業。その後、国内で水道管における衛生問題や作業不足の問題が発生。この問題を解消すべく、産業用だったステンレス配管を一般配管にも採用できる、ステンレス鋼管対応プレス式継手「モルコジョイント」を1975年より販売。この「モルコジョイント」は衛生的で、作業不足を解消できるシステムであったことから、全国の水道事業者の認可を受け、1978年、増産体制に対応するため現在の群馬県太田市に工場を移転。2011年、本社も移転し、現在も社会やお客様の声に耳を傾け、製品開発に取り組んでいます。

● 経緯・背景

事業の発祥が人々のライフラインへの貢献のため、社員の誰もがそれを“あたりまえ”と捉え、事業を継続してきました。2015年の国連サミットでSDGsが採択された際、自分たちの事業のあり方と重なる部分が多く、翌年の2016年に現在のミッション「現在だけでなく、未来を考えた配管の開発と供給を通し、信頼あるライフラインの構築を提案する」を定めました。

またミッションブランドとして、「SUSTAINABLE LIFELINE」を商標登録しており、このミッションは私たちの社会的な存在意義（パーパス）として、社員が誇りを持って事業に従事しています。

● 具体的な取組や成果

ステンレス配管、社会貢献推進制度、国際人材育成をはじめそれぞれの事業で持続的に貢献できる仕組みづくりで成果を発揮

● ステンレス配管

主力のステンレス配管は、錆びにくいことから食品工場や浄水施設などで採用される衛生的な配管です。また耐久性にすぐれていることから、官公庁舎、病院、警察、消防などの重要施設での採用も多くなっています。さらに廃材になることが少なく、仮に廃棄となってもリサイクルされる頻度が高い素材です。

● 社会貢献推進制度

会社および社員が社会貢献に参画しやすいような、社内制度の整備に努めています。例えば、社内に国際的な水支援を行うための寄付型自動販売機を設置したり、会社敷地

内にソーラーパネルを設置し、積極的に再生可能エネルギーの活用にも取り組んでいます。

● 国際人材育成

地元に住んでいる外国人だけでなく、ベトナムのグループ会社からも従業員を積極的に受け入れています。その取組体制は、メディア取材や県外の自治体からの見学要望といった形で大変注目されています。また ODA 団体からの協力依頼で、タンザニア等の発展途上国の製造業に対して、オンラインで社内の 5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）活動を伝える交流も行っています。



ステンレス配管は、耐久性、衛生性、リサイクル性にすぐれています



群馬県太田市の MJ 工場では、多くの外国人社員が働いています

当社にとっての SDGs ビジョン

社会における存在意義を高め 2030年のSDGsゴールを達成

持続可能な配管（SUSTAINABLE LIFELINE）の開発と供給を通して、2030年のSDGsのゴール達成に貢献することです。そしてSDGsを通過点として、その取組がゴール以降も“あたりまえ”に継続できる企業として、社会における存在意義（パーパス）を高めていきたいです。

今後の展望と求めるパートナー像

持続可能な配管を中心に 様々な事業でSDGsに貢献

- (1) ステンレス配管をメインに、持続可能な配管（SUSTAINABLE LIFELINE）の開発と供給を推進します。
- (2) 会社としての企画、社員の参画を意識した社会貢献活動の具体化に努めます。
- (3) 外国人雇用、海外事業展開に力を入れ、国際貢献の一助となれるよう事業展開します。